

# 平成 28 年度 PTA東雲の会研修旅行

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校  
日帰り 2016年11月1日(火)

本堂(鎌倉時代創建、1665年再建)



表山門



仲麻呂堂(金閣浮御堂)

仲麻呂をはじめとする安倍一族が祭られている



## 日本三文殊第一霊場 あべもんじゆいん 安倍文殊院

〒633-0054 奈良県桜井市安倍山(安倍645) TEL.0744-43-0002

大化の改新(645年)に創建された日本最古に属する寺院。華嚴宗東大寺の別格本山としてその格式も高く、御本尊は「三人寄れば文殊の智恵」の格言で有名な文殊菩薩で、日本最大(7m)・快慶作の国宝である。

孝徳天皇の勅願によって大化改新の時に、左大臣となった安倍倉梯麻呂(あべのくらはしまろ)が安倍一族の氏寺として建立したのが「安倍山崇敬寺文殊院」(安倍寺)である。しかし一般的には古来より、日本三文殊の第一霊場(京都府・天橋立切戸の文殊、山形県・奥州亀岡の文殊)「大和安倍の文殊さん」として名高い。

大化元年(西紀645)倉梯麻呂が創建した安倍寺(崇敬寺)は、現在の寺の南西300メートルの地に法隆寺式伽藍配置による大寺院として栄えていた。(東大寺要録末寺章)(現在「安倍寺」跡は国指定の史跡公園として保存されている。)鎌倉時代現地に移転後も、大和十五大寺の一つとして栄え嘉吉元年(1441)この興福寺官務牒疏には当時なお二十八坊の存在が記されており、寺運はなかなか隆盛であったが、永禄六年(1563)二月松永弾正の為に兵火に会い一山ほとんど烏有に帰する災を受け、その後寛文五年(1665)四月に到って本堂(文殊堂)と礼堂を再建されたのである。現在の本堂は即ちこれで、人母屋造本瓦葺七間四面の建物で前に礼堂(能楽舞台)を従えている。本堂の右に釈迦堂、左に大師堂、本坊、庫裡が並び、庭園を隔てて方丈客殿につらなっている。

創建以来すでに千三百余年の星霜を経ているが常に一般道俗の信仰をあつめ、由緒も深く寺勢も盛んであった事は寺伝の由来記に載せるところであり、日本最大の文殊菩薩(国宝)を本尊とする安倍文殊こそ俚謡そのままのある五台山として、仏徒の巡拝すべき道場である。(安倍文殊院HPより)

### 日程表

7:35 学校東門 集合

7:45 学校 出発

(途中 三木SA等で休憩予定)

12:00 安倍文殊院 到着(昼食)

昼食は安倍晴明の陰陽道にちなんだ「健康薬膳精進料理」をありがたいお話とともにいただく予定です。

13:00 安倍文殊院 拝観・祈祷

14:15 安倍文殊院 出発

16:30 三木SA 到着・休憩

19:15 学校 帰着(予定)

今回の研修旅行は、学力向上・学業祈願のために安倍文殊院に参ります。

安倍晴明堂(安倍晴明天体観測の地)



ただいま保護者の参加申込み受け付け中です。

申込み締め切りは10月3日(月)ですが、参加者が多い場合は先着順となりますのでお早めにお申し込みください。

参加のご案内文書は生徒便で9/12に配布しております。



◆国宝◆

と かいもんじゅ  
渡海文殊



### 国宝 渡海文殊(とかいもんじゅ)

当山のご本尊文殊菩薩は獅子に乗り4人の脇侍を伴う渡海文殊【5像全てが国宝】のお姿です。鎌倉時代・建仁3年(1203年)に大仏師・快慶によって造立されました。

渡海文殊は当山の本山である東大寺が、平安時代末期に平重衡によって焼打ち炎上させられ、大仏が再造立された際、大仏殿再建の象徴として、総責任者・重源上人の念持仏でもあった文殊様を、平安時代から東大寺の別格本山であった当山に造立し、東大寺総供養に法要する為であったと考えられています。(安倍文殊院 HP より)



### 本尊

### 国宝 騎獅菩薩文殊像

木彫極彩色の騎士像(高さ7尺・日本最大)で、右手に降魔の利剣を持ち左手に蓮華を持ち獅子に乗った渡海文殊像です。文殊様の胎内墨書銘と胎内から発見された造立願文(国宝)により、建仁3年(1203)の快慶の作と判明しています。(安倍文殊院 HP より)

このほかにも国宝である鎌倉時代のたくさんの像や、寺宝・文化財などが拝観できるそうです。

安倍寺の歴史はなんと紀元前156年に安倍氏の祖である大彦命が誕生(日本書紀に記載)してから始まるそうで、お寺の創建は645年(あの大化の改新!の年)とのこと。

今回の研修旅行では、ぜひ智慧の仏様にあやかって、子ども達の学業成就をお祈りしたいと思っています。